

## 麦類赤かび病注意報が発表されました！

～「びわほなみ」は赤かび病防除を  
3回実施してください！～

向こう1か月の気象予報（4月9日発表）によると、気温は高く、降水量も平年並～多い見込みです。この気象条件は赤かび病菌の感染に適しているため、4月15日に県内全域に病害虫発生予察注意報第1号「麦類赤かび病多発のおそれ」が発表されました。

現在、麦類の生育はやや早～平年並です。10月播種の「ファイバースノウ」では概ね開花始め～開花期を迎えており、11月上旬～中旬播種の「びわほなみ」は概ね出穂期～開花始めを迎えています。品種に応じた防除を以下のとおり適期に実施してください。降雨が続く場合でも、雨のやみ間を見て確実に防除を行いましょう。

### びわほなみ

赤かび病に弱いため、必ず3回防除を実施してください。

防除時期の目安	
1回目	出穂期※～開花期
2回目	1回目の7～10日後頃
3日目	2回目の7～10日後頃

※「びわほなみ」の3回防除の場合、1回目の防除を出穂期直後に実施しても、開花始め以降の防除と同等の効果が得られます。



開花が始まった穂  
(びわほなみ)



赤かび病にかかった穂(拡大)

## ファイバースノウ

ファイバースノウも、赤かび病にやや弱いことから、必ず **2回**防除を実施してください。

なお、2回目散布後に気温が高く、曇雨天が続く場合は、追加防除（3回目）を実施してください。

防除時期の目安	
1回目	開花始め～開花期
2回目	1回目の7～10日後頃
3日目	2回目の7～10日後頃

赤かび病は人畜に有害なかび毒（DON：デオキシニバレノール）を生成するため、農産物検査において赤かび粒は混入しないこと（混入率0.0%）と定められています。

また、厚生労働省の基準値（1.0ppm）を超えたDONが検出されると、その小麦は食用として販売できなくなります。

良質な小麦を育てる、食の安全を守るためにも、赤かび病への万全の対策（防除）が求められます。